

区立保育園看護師発 今月のテーマ

♥感染性胃腸炎・インフルエンザについて♥



空気が乾燥し気温が低くなる時期は、インフルエンザや感染性胃腸炎が流行します。
乳幼児は感染すると重症化することがあります。休養と栄養をしっかりと、手洗い・手指消毒で感染予防に努めましょう。
今月は、感染性胃腸炎・インフルエンザについてお伝えします。

感染性胃腸炎

(ノロウイルス・ロタウイルス・お腹の風邪等)

- 症状：吐き気、おう吐、下痢、腹痛、発熱など
- 予防：・丁寧な手洗い
- ・食品は十分加熱する
 - ・おう吐物や便は適切に処理する



～家庭でのケア～

- ✓吐き気やおう吐がおさまってから、少しずつ水分補給をしましょう。
 - ✓水分が摂れるようになったら、消化のよいおかゆなどを食べさせましょう。
- ※下痢便やおう吐物が、床や衣類に付いたら消毒しましょう。
消毒方法は、二次元コードから確認できます。

(大田区ホームページより)



インフルエンザ



- 症状：突然の高熱、倦怠感、関節痛や筋肉痛、喉の痛み、咳や鼻水、くしゃみなど
- 予防：・インフルエンザワクチンの接種
- ・丁寧な手洗い
- ※アルコール消毒は効果がある

～家庭でのケア～

- ✓症状の回復と悪化の防止に湯冷まし、麦茶、経口補水液をこまめに飲ませましょう。
- ✓手足が冷たい時は、布団や衣類で温めましょう。手足が温まり、顔に赤みがでて汗をかいてきたら、太い血管のあるわきの下、太ももの付け根などを冷やしましょう。
- ✓汗をかいたら着替えましょう。
- ✓加湿器などで室内の乾燥を防ぎましょう。



※ 免疫力は、体温が1℃低下すると30%低下すると言われています。身体を冷さないように、衣服や食事などで工夫しましょう。

大田区の感染症情報

11月1日～11月24日

地域	大森	調布	蒲田	糀谷羽田
感染性胃腸炎	5	0	11	1
手足口病	10	0	6	0
ヒトメタニューモ	0	4	3	0
突発性発疹	4	3	1	0



学校等欠席者・感染症情報システムを活用して、区内の感染症の流行状況等を地域ごとにお知らせします。

<ウイルスを増やさない環境>

湿度が40%以下になるとウイルス飛沫の水分が蒸発して軽くなるため、空気中を漂うこととなります。乾燥するほど広い空間にウイルス飛沫が広がります。湿度40%を下回らない加湿をすることと換気が大切です。



子育てアラカルト(区内共通)

<夜間・休日診療のご案内>

お子さんの急な発病時の受診に困ったら、区内医師会等で以下の通り対応をしています



平日 夜間	大田区子ども平日夜間救急室 (東邦大学医療センター内)	3761-4151	午後8時から 午後11時
土曜	大森医師会診療所 蒲田医師会診療所	3722-2402 3732-0191	午前9時から 午後10時
日曜 祝日	大森医師会診療所 蒲田医師会診療所 田園調布医師会診療所	3772-2402 3732-0191 3728-6671	午前9時から 午後10時

※各医師会診療は、電話予約制です
詳細は大田区ホームページをご覧ください